

2017年10月18日
小田急電鉄株式会社

引退車両の一部車両の解体について

当社では、保存車両のうち同一車種で複数車両を保存しているものについて、その一部を解体することといたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1 対象車両

ロマンスカー・3100形（NSE） 中間車両3両

※ 現在、先頭車両2両、中間車両4両の計6両を保存しております

ロマンスカー・20000形（RSE）先頭車両1両

※ 現在、先頭車両2両、中間車両1両の計3両を保存しております

2 解体作業日

2017年10月19日（木）より随時

3 理由

2018年3月の複々線完成に伴うダイヤ改正で計画している、通勤時間帯における増発列車の収容のほか、運行異常時など、緊急時における車両の収容スペースを十分に確保するため。

4 今後

現在当社で保存している引退車両の多くは当時の最新技術を採用し、時代の看板車両として、技術面はもとより輸送サービスの向上に大きく貢献してまいりました。

こうした歴史的価値に鑑み、当社では、今後も引退車両の一部を保存し、後世に伝えていきたいと考えております。

以上